

保存版

自主防災組織について

仁川町2丁目自治会 自主防災会

＜改訂増刷版＞



作成 協力

西宮市 総務局
地域防災支援課

平成7年1月17日 阪神・淡路大震災

阪神・淡路大震災のような大規模災害は、公的な消防防災体制の機能限界を示す災害であり、その限界を補完したのが自治会を母体とした自主的な防災活動であった。

《既に発足していた自主防災組織の活動一例》

- ・飲料水の確保 ・ 救援物資の配布 ・ 炊き出し ・ 避難所の確保 ・ 救出活動
- ・ 備蓄食料（カンパン等）の配布
- ・ 負傷者の応急手当
- ・ 地区内の被害状況調査
- ・ 独居者の安全確認
- ・ 拡声器等による火災予防広報



等

仁川町2丁目も甚大な災害を被りました。



仁川町2丁目崖崩れの発生と倒壊した家屋

《自治会の救出活動、炊き出し、共同、情報》

発生当初より住民が救出活動と声がかけて、けが人がいないか、安全を確認して段上西小学校へ避難しました。

避難初日はおにぎり1個を2人で分け合って食べました。翌日には炊き出しがあり、空腹はしのげました。

避難生活ではトイレの水をプールから運搬の係、炊き出しなど全員で協力しながらの共同生活でした。

ライフラインの復旧の情報が入り、生活再建へ希望が膨らみました。

《仁川町2丁目自治会の取り組み》

自主防災会の設置。

防災倉庫の設置、定期の資機材の点検。

消火訓練や心肺蘇生法の講習会へ参画。防災士の資格取得。

①なぜ自主防災組織が必要なのか



阪神・淡路大震災での教訓

生き埋めや閉じ込められた際の救助

(資料)「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」
(平成8年11月日本火災学会)より作成

自力で	家族に	友人に・隣人に	通行人に	救助隊に	その他
34.9%	31.9%	28.1%	2.6%	1.7%	0.9%

自助・共助 97.5%

公助 2.5%

自助・共助の重要性

○阪神・淡路大震災時の公的機関の参集状況
震災後18時間の時点で約40%~50%

大きな災害が発生した場合、行政の限界を超える

②自主防災組織の活動について



平常時の活動

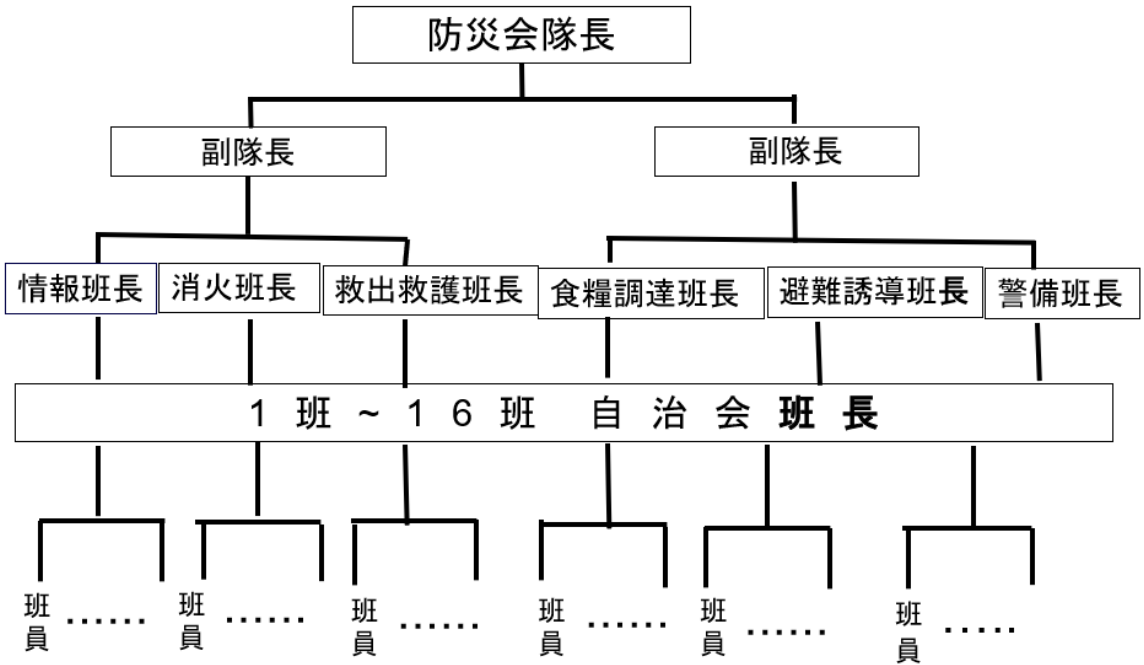
防災知識の普及
防災講習会・勉強会等の開催
非常持出袋・避難食、転倒防止グッズなどの
防災イベントの実施 など

防災巡視・防災点検
各家庭の防災用品の点検
地域の危険箇所(燃えやすい物が放置されて
いないか、倒れやすいブロック塀などはない
か等)の点検
など

防災資機材の整備
防災資機材の点検・整備。防火水槽、消火栓
の位置確認 など

防災訓練の実施
初期消火訓練、避難誘導訓練、情報収集・伝
達訓練、防災・避難所の確認
など

仁川町2丁目防災会の構成

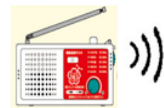


* 仁川町2丁目自治会 防災会の班長を募集中です。

日頃からこんな訓練をしましょう

情報班

- ◆情報収集訓練
 - ・テレビ、ラジオ、インターネット、電話、電子メールなど、どの方法を使うか検討。
 - ・住民の避難が完了しているか、避難に支援が必要な人がいるかなどをどう知らせてもらうか
- ◆情報伝達訓練
 - 地域住民にどう伝達するか検討
- ◆危険個所の把握（まち歩き）
- ◆防災意識の高揚。（イベントの参加）



消火班

- ◆消化方法の指導
- ◆初期消火訓練



警備班

- ◆防犯意識の高揚
- ◆犯罪の警戒

救出・救護班

- ◆防災資機材の点検・使用訓練
- ◆応急手当・救急搬送訓練



避難誘導班

- ◆避難誘導訓練
- ◆避難経路の点検



食糧調達班

- ◆炊き出し訓練
- ◆食料・水の備蓄呼びかけ
- ◆感染症・対策グッズ



仁川町2丁目 消火設備

消火栓 防火水槽 防災倉庫 の 現在地 仁川2丁目自主防災会

凡例		
●	消火栓	10ヶ所
■	防火水槽	2ヶ所
▲	防災倉庫	1ヶ所



救出・救護班

- ◆防災資機材の点検・使用訓練
- ◆応急手当・救急搬送訓練



避難誘導班

- ◆避難誘導訓練
- ◆避難経路の点検



食糧調達班

- ◆炊き出し訓練
- ◆食料・水の備蓄呼びかけ
- ◆感染症・対策グッズ

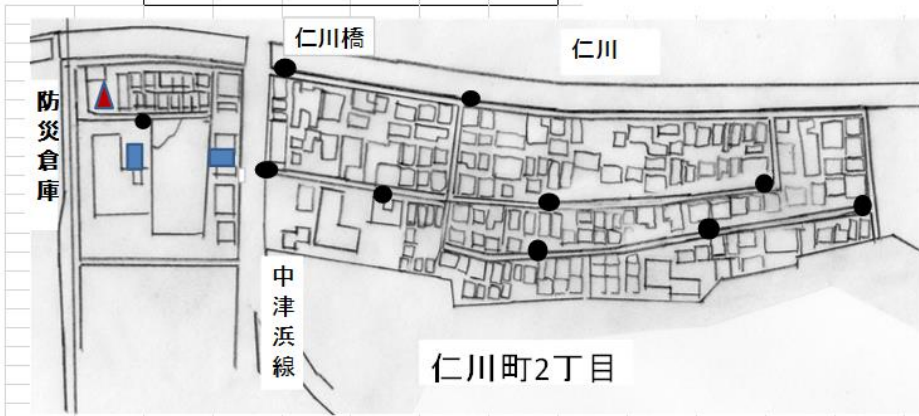


仁川町2丁目 消火設備

消火栓 防火水槽 防災倉庫 の 現在地 仁川2丁目自主防災会

凡例

- 消火栓 10ヶ所
- 防火水槽 2ヶ所
- ▲ 防災倉庫 1ヶ所



防災資機材について

校区防災資機材...各小学校区単位で配備されている資機材

段上西小学校区の例（仁川町2丁目自治会の校区）



←発電機、可搬式消防ポンプ、リヤカー、スコップ、のこぎりなどが
配備されています。

校区内の自主防災組織であれば、災害時だけではなく、平常時の訓練等にも活用できます。

仁川町2丁目 防災倉庫の鍵は防災班長及び各班長が保管しています。

防災倉庫の資機材...誘導用備品・消火用備品・救急対应用品

誘導用備品



電池メガホン

簡易メガホン

救助工具セット

強カライト

簡易担架

避難用ロープ

ヘルメット

救急対应用品

養生シート大 2枚
養生シート小 1枚
救急箱 2個
ハサミ・ガーゼ入りのクロス
体温計(5分計)
メン棒
バンドエイド

其他用品

携帯用ラジオ 1個

消火用備品

消火栓キー	2本	スタンドパイプ	1個	管そう(YONE製)	1個
ホース20m	2本	媒介金具	1個	ノズル先端の減圧器具	
放水用ジョイント	1個	消火栓用金具	1個		

【防災・避難所 巡り】スタンプラリー

大規模災害時の指定避難場所の段上西小学校、甲東センターと段上センター、又、防災倉庫、段上西小学校の校区防災倉庫と西宮市消防団段上分団の防災施設の場所を知っておきましょう。

- 仁川町2丁目 **防災倉庫** 毎年新班長さんに資機材点検をお願いしています。担架や避難用ヘルメット、又、消火栓利用時の工具が有ります。
- 段上西小学校 **大規模災害時の指定避難場所**です。
- 甲東センター 段上西小学校ではペット同伴で避難出来ます。
- 段上センター (アプリ甲東3階) 段上西小学校の**校区防災倉庫**では消防ポンプ、発電機、パケツリレー用のパケツが有ります。
- 段上センター (段上保育園南側)
- 西宮市消防団段上分団 仁川町2丁目から田近野、一里山まで近隣の地域の**災害救援の部隊**です。約20名の分団員が所属しています。消防自動車の格納庫が有ります。

施設の場所

施設巡りスタンプラリーや防災訓練を計画しています。



③さいごに



いざというときの連絡先 0798-35-3456

西宮市災害対策本部(災害時のみ使用)

警察 110

消防 119

ライフライン

水道

西宮市上下水道局 受付時間 0798-32-2201
電話受付センター 平日 (8:00~20:00) 0797-61-1703
土日祝(8:45~17:30) 0798-904-2481

電気

関西電力送配電(株) 0800-777-3081

ガス

大阪ガス 0120-7-19424

電話

NTT西日本 一般電話からは 113
携帯電話からは 0120-444-113

防災マップについて

新しい防災マップ、確認いただけましたか



令和4年5月に全戸配布しました。
市役所の地域防災支援課または各支所でも配布しております！

マイ非常持出品リスト

非常持出袋（リュックサックなど）に入れておくもの

□飲料水



重くなりすぎないように、
最低限500mlペット
ボトル2～3本程度

□非常食



食べやすく、
保存期間が長く、
調理せずに食べら
れるもの

□貴重品



現金（公衆電話用に
10円玉）
通帳・印鑑・健康保険
証・免許証の写しなど

□救急用品・医療品
感染防止品



消毒薬・包帯・三角
巾
マスク・体温計・ス
リッパなど

○家族構成や世帯事情に応じて必要なものを準備してください。

以上